

れいわ ねんど みどり こ さくひん ぼしゅう さくぶん し せつめいぶん じぶん
令和七年度『碧の子』作品集（作文・詩・説明文）『自分のまわりの生活を見つめよう』

みな 皆さんは、まいにち がっこう かてい せいかつ なか いろいろなことを経験しています。せいかつ なか 見たこと、
聞いたこと、感じたこと、かんが 考えたことを、ありのままにくわしく書いてみましょう。

さいぎん ①最近のできごとの中から、なか とく ころろ 残っていることを思い出す。

・ なみだを流した体験、家族や友達といっしょに何かをした体験などもよい。

②そのできごとの中で、なか ともだち せんせい いちばん 伝えたいこと（主題）を決める。

③はじめ、なか、おわりに書くこと（構成）を決める。

④場面の様子や気持ちがよく伝わるように工夫して書く。

・ 目・耳・鼻・舌・皮などを敏感にはたらかせて、様子・形・色・動き・音などを書きこんでみる。
・ よく知っているものにたとえてイメージをわかりやすく伝える。
・ 会話を入れる。気持ちの動きをしっかりと書く。

⑤書き出しを工夫する。

・ まわりの様子や景色から書き出す。会話から書き出す。主題から書き出す。

⑥しめくくりを工夫する。

・ 人物の行動で終わる。問いかけで終わる。周りの様子や景色で終わる。主題で終わる。

◎作文さくぶん

生活文・説明文など

一年生：ねんせい・400字じづ詰め 原稿用紙げんこうようし 三枚まい以内

二、三年生：ねんせい・400字じづ詰め 原稿用紙げんこうようし 三、四枚まい

四、六年生：ねんせい・400字じづ詰め 原稿用紙げんこうようし 四、六枚まい

◎詩

枚数は自由